


















世代管理あり フルバックアップ・差分バックアップ・増分バックアップ

A、Bはフォルダ、a、b・・・はファイルを表します。



	Aフォルダ (バックアップ元)	Bフォルダ(バックアップ先)		
		フルバックアップ	差分バックアップ	増分バックアップ
5月3日 8時15分30秒	 バックアップ前の状態	 2023-05-03-081530full 第1世代 サブフォルダ作成 (以下同様)	 2023-05-03-081530full 第1世代	 2023-05-03-081530full 第1世代
5月4日 16時3分5秒	 aが更新された。	 2023-05-04-160305full 第2世代	 2023-05-04-160305dif	 2023-05-04-160305inc
5月5日 23時59分59秒	 cが追加された。	 2023-05-05-235959full 第3世代	 2023-05-05-235959dif	 2023-05-05-235959inc
5月6日 0時0分0秒	 bが更新された。	 2023-05-06-000000full 第4世代	 2023-05-06-000000dif	 2023-05-06-000000inc

- ・任意または指定のタイミングで、バックアップ先に作成されるサブフォルダの中にバックアップが行われる。
- ・1回目は、どのバックアップでも、フルバックアップとなる(バックアップ元の中身をすべてバックアップする)。サブフォルダ名には full がつく。
- ・2回目以降、差分バックアップでは、直近のフルバックアップ以降の変更がバックアップされる。サブフォルダ名には dif がつく。増分バックアップでは、直前のバックアップ以降の変更だけがバックアップされる。サブフォルダ名には inc がつく。
- ・差分バックアップと増分バックアップでは、任意または指定のタイミングでフルバックアップをやり直すことができ、その時点で世代が変わる(手動バックアップ時に、差分(増分)かフルかを選択できる)。何世代前までのバックアップを保持するかを指定し、それ以前の世代を自動的に削除することも可能。
- ・バックアップ後に自動的にサブフォルダをzip圧縮することが可能。
- ・バックアップ元を指定した日付の状態にリストアすることが可能(下は5月5日に戻す例)。

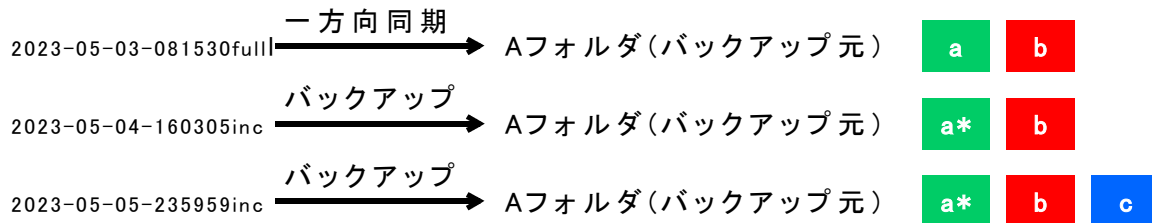
【フルバックアップの場合】

2023-05-05-235959full $\xrightarrow{\text{一方向同期}}$ Aフォルダ(バックアップ元) 

【差分バックアップの場合】

2023-05-03-081530full $\xrightarrow{\text{一方向同期}}$ Aフォルダ(バックアップ元) 
 2023-05-05-235959dif $\xrightarrow{\text{バックアップ}}$ Aフォルダ(バックアップ元) 

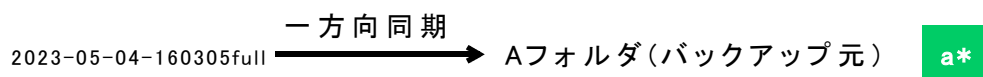
【増分バックアップの場合】



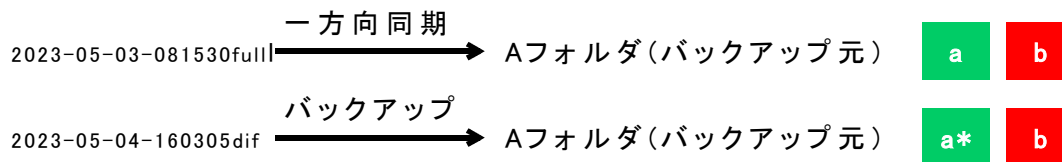
上の例では、どのバックアップでも完全なリストアが可能だったが、下のように、コピー元フォルダでファイルが削除された場合、**差分・増分バックアップではそれが復活してしまう**(5月4日に戻す例)。

	Aフォルダ (バックアップ元)	Bフォルダ(バックアップ先)		
		フルバックアップ	差分バックアップ	増分バックアップ
5月3日 8時15分30秒	a b バックアップ前の状態	<div>a b</div> <div>2023-05-03-081530full 第1世代</div>	<div>a b</div> <div>2023-05-03-081530full 第1世代</div>	<div>a b</div> <div>2023-05-03-081530full 第1世代</div>
5月4日 16時3分5秒	a* aが更新され、 bが削除された。	<div>a*</div> <div>2023-05-04-160305full 第2世代</div>	<div>a*</div> <div>2023-05-04-160305dif 第2世代</div>	<div>a*</div> <div>2023-05-04-160305inc 第2世代</div>
5月5日 23時59分59秒	a* c cが追加された。	<div>a* c</div> <div>2023-05-05-235959full 第3世代</div>	<div>a* c</div> <div>2023-05-05-235959dif 第3世代</div>	<div>c</div> <div>2023-05-05-235959inc 第3世代</div>

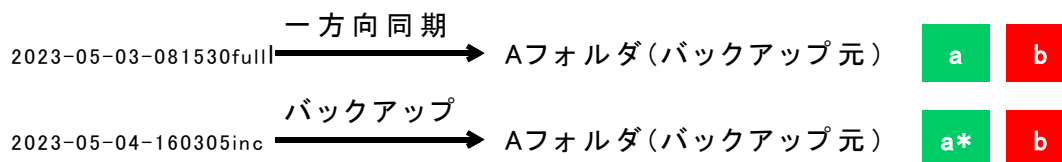
【フルバックアップの場合】



【差分バックアップの場合】



【増分バックアップの場合】



作成したジョブ（世代管理あり）の実行方法

「バックアップ・同期ツール」を起動して実行する以外に、「バックアップ・同期ツール」を起動することなく、次の3つの方法で直接実行できます。

- ① マウスジェスチャーに割り当て
- ② 「マウスのその他の拡張機能」でマウスの動作に割り当て
- ③ 「キーボードの高度な機能制御」でキーやショートカットキーに割り当て

- ① 操作パネル上の「マウスジェスチャー」の設定ボタンを押し、右クリックメニューを使って設定を割り当ててください。
- ② 操作パネル上の「マウスやキーボードの機能拡張と制御」ボタンを押し、「マウスのその他の拡張機能」タブで、お好みのマウスの動作に設定を割り当てることができます。
- ③ 操作パネル上の「マウスやキーボードの機能拡張と制御」ボタンを押し、「キーボードの高度な機能制御」タブで、お好みのキーやショートカットキーに設定を割り当てることができます。